

一般質問発言通告書

発言順位 | 2 番

下記事項について質問をしたいので、会議規則第51条第1項の規定により通告します。

令和2年11月25日

三島市議会議長 大房正治様

三島市議会議員 9 番 沈 久美 (印)



質問事項 1	三島市「児童虐待根絶宣言」をふまえたさらなる取り組み強化について
具体的内容	<p>児童虐待の防止等に関する法律（児童虐待防止法）成立から 10 年が経過しました。成立以来、毎年 11 月を児童虐待防止推進月間と定め、国県市町でさまざまな取り組みがなされてきました。10 年というのは一つの大きな節目であります。児童虐待の痛ましい事件は依然として後を絶たない状況です。先日の報道では、昨年令和元年度、全国の児童相談所が児童虐待として対応した全体の件数が 19 万 3,780 件に上ったとのこと。これは前年度比 21.2%増であり、平成 2 年度の統計開始以来 29 年連続で最多更新であることも新聞等で大きく扱われています。静岡県内でも増加傾向であるのに対し、三島市ではやや減少傾向（令和 2 年 1 月現在）にあるようです。市議会の議事録をみても、多くの議員が子どもを守るために懸命なる声を挙げ、当局も真摯に向き合い、家庭児童相談所、教育現場、警察その他の関係団体の連携、市民協力のおかげであると思います。このたび三島市は「児童虐待根絶」を宣言しました。今後、虐待ゼロを目指し、さらなる虐待防止取組強化および虐待を経験した子どもや家族へのケア等を細かく丁寧にかつ継続的に行うため、以下について伺います。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 虐待児童の安全確認措置について（転入出時の情報共有・引継ぎ状況はどうか） 2. 一時保護所について（子ども目線で子どもの権利は守られている状況にあるか） 3. 市の支援体制について（専門的な対応力向上のため弁護士や医師等の外部人材活用状況） 4. 母子保健分野での取り組みについて（予防接種状況をどのように把握しているか） 5. 学校関係の取り組みについて（予期せぬ妊娠など正しい性の知識普及に関する実施状況） 6. 新設される「子ども家庭総合支援拠点」の概要について
質問事項 2	コロナ禍における「閉塞感・孤独感・未達成感」解消に向けて
具体的内容	<p>新型コロナウイルスとの見えない闘いが始まってまもなく 1 年となり、新しい生活様式や自粛の雰囲気定着する一方で、常に健康や生命を脅かされる不安、先行きの見えない状況に対する閉塞感、リモートワーク等が進んだことによるコミュニケーション不足や孤独感が蔓延しています。「時間が経つのが早い」「時間に追われている感じがする」など多忙感や時間の使い方に悩む方も増えているようです。仕事や勉強が思い通りに進まないと感じる、自分の存在価値に対する自信が揺らぐ、自由が奪われていると感じ辛いといった、これまで以上に深刻化するさまざまな負の感覚を、大人も子どもも高齢者ももっています。市としてこのような状況に対し、どのように取り組んでいるのか伺います。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 幼児・児童の「外遊び不足等」に関わる取り組み状況 2. 児童・生徒の「生徒会活動、地域活動等における未達成感等」に関わる取り組み状況 3. 成人女性の「出産不安等」に関わる取り組み状況 4. 子育て世代の「子育てストレス等」に関わる取り組み状況 5. 市役所職員の「職場ストレス・心のケア等」に関わる取り組み状況 6. 高齢者の「外出不安・孤独感等」に関わる取り組み状況